



いわみ

No.168
令和8年8月31日発行

議会だより



大迫力のファイナル
いわみ花火祭り

6月定例会

- 2 新たな力も加わり新しい岩美町へ
- 8 5議員が町政を質す

- 6 本会議の概要、審議結果と賛否
- 14 いわみ花火祭り開催



新しい岩美町へ

福祉の向上をめざします。

25日～2030年7月24日)

副議長

てらがき ともあき

寺垣 智章

4期 無所属 48歳 岩井



やなぎ まさとし

柳 正敏

7期 無所属 57歳 網代

開かれた議会運営に取り組む

このたび、町議会におきまして副議長という大役を仰せつかることとなりました。身の引き締まる思いとともに、その責任の重さを痛感しております。

本町においても少子高齢化への対応や地域経済の活性化、防災・減災対策など、多くの課題に取り組まなければなりません。こうした変化の激しい時代にあって、町民の皆様が安心して暮らせるまちづくりを進めるためには、議会がその役割をしっかりと果たしていくことが不可欠です。

議長をしっかりと補佐し、公正で開かれた円滑な議会運営に努めるとともに、皆様の生の声を真摯にお聴きし、町政へと反映できるよう誠心誠意尽力してまいります。

微力ではございますが、町のさらなる発展と町民の皆様の幸せと福祉の向上のため、全力を尽くしてまいります。

今後とも、町議会に対するより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



かわぐち こうじ

川口 耕司

4期 無所属 73歳 蒲生



もりた ようこ

森田 洋子

3期 公明党 64歳 黒谷



いwasaki さとる

岩崎 傑

1期 無所属 36歳 岩本



おかもと ひろみ

岡本 浩美

2期 無所属 66歳 小羽尾

新たな力も加わり

町のより良い発展と

(議員の任期 2026年7月)



議長

たなか しんご

田中 伸吾

5期 自由民主党 64歳 高山



さわ はるき

澤 治 樹

5期 無所属 75歳 大谷



みやもと じゅんいち

宮本 純一

4期 無所属 68歳 延興寺



いわみ ゆきのり

岩見 幸徳

1期 日本共産党 64歳 網代



はかた りょうた

博田 凌太

1期 無所属 25歳 網代



ますい ゆうこ

升井 祐子

3期 幸福実現党 63歳 大谷

ますい ゆうこ

3期 幸福実現党 63歳 大谷

3つの基本姿勢を掲げ、取り組む

このたび、議長の要職に就任いたしました。その重責に身の引き締まる思いであり、その責任の重大さを改めて痛感しております。今後、私は次の3つの基本姿勢を掲げ議会運営に邁進してまいります。

第1に、「町民に開かれた、親しまれる議会づくり」です。町民と議会の距離を縮めるため情報発信を更に強化し、また、町民の皆様と直接対話する機会を広げていきたいと考えます。

第2に、「政策提案力を備えた対等な議論の展開」です。行政の監視機能を果たすにとどまらず、町民ニーズに即した具体的な政策提案を主体的に進めてまいります。

第3に、「全員で挑む、活気ある議会の構築」です。ベテラン議員の豊かな経験と識見、そして新人・若手議員の皆様の新しい視点や行動力、その双方を尊重し、全員が持てる力を最大限に発揮できる議会環境を整え、一人ひとりの議員の情熱と政策意欲を束ね、チーム議会として課題解決に挑んでまいりたいと考えます。

これからも町民の皆様が安心して誇りを持って暮らせるまちづくりに向け全力を注ぎます。皆様の変わらぬご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

委員会の構成決まる

7月28日に開催した第5回臨時会で議会運営委員会、常任委員会などの構成が決まりました。

【議会運営委員会】

委員長	澤	治樹
副委員長	升井	祐子
委員	岡本	浩美
委員	川口	耕司

【委員長あいさつ】

議会運営委員会は、本会議の円滑な進行や議会機能の維持・向上を担う重要な役割を果たす場です。町民にその活動が見え、町民に分かりやすい議会をめざすエンジンとなるのは、正副議長も議論に加わる議会運営委員会だと思います。その役割を果たすため、委員会の機能を十分に発揮したいと決意しています。

【総務教育常任委員会】

委員長	柳	正敏
副委員長	森田	洋子
委員	博田	凌太
委員	岡本	浩美
委員	澤	治樹
委員	田中	伸吾

【委員長あいさつ】

総務教育常任委員会は、行財政改革や防災・防犯をはじめ、学校教育、生涯学習など、町民の皆様の安全・安心な暮らしと未来を担う子どもたちの育成に直結する幅広い分野を担当しております。人口減少をはじめとする様々な地域課題に直面する中、持続可能で魅力あるまちづくりと、子どもたちが個性を伸ばし伸びやかに学べる教育環境の充実が不可欠です。町民の声に耳を傾け、負託にこたえられる委員会運営に努力していきたいと思ひます。皆様のご指導とご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

【産業福祉常任委員会】

委員長	宮本	純一
副委員長	升井	祐子
委員	岩崎	傑
委員	岩見	幸徳
委員	川口	耕司
委員	寺垣	智章

【委員長あいさつ】

産業福祉常任委員会は、農林水産業や商工業、産業振興といった地域経済の活性化をはじめ、福祉・医療、子育て支援、健康づくりなど、町民の皆様の豊かな暮らしと健やかな生活を支える幅広い分野を担当しております。地域経済の維持発展と、誰一人取り残さない包摂的な社会の実現は、本町においても重要な課題です。現場の事業者や町民の皆様の声に真摯に耳を傾け、活力とぬくもりあふれるまちづくりをめざして、委員一丸となり取り組んでまいります。皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何とぞよろしくお願いいたします。

【議会だより調査特別委員会】

委員長	升井	祐子
副委員長	博田	凌太
委員	岡本	浩美
委員	岩崎	傑
委員	岩見	幸徳
委員	森田	洋子
委員	柳	正敏
委員	寺垣	智章

【委員長あいさつ】

議会だよりは、町民の皆様と議会を結ぶ大切な架け橋です。町政の重要な動きや議論の過程を、より分かりやすくお伝えできるよう、委員一丸となって努めてまいります。

また、若い世代をはじめ幅広い層に親しまれる紙面づくりを目指し、見やすさや読みやすさの向上にも取り組んでまいります。皆様からの温かいご意見をお待ちしております。

【議員選出監査委員】 川口 耕司

【鳥取県東部広域行政管理組合議会議員】 寺垣 智章、田中 伸吾

【鳥取県後期高齢者医療広域連合議会議員】 森田 洋子

初当選議員の抱負

博田 凌太



この度の町議員選挙におきまして、温かいご支持を賜り心より感謝申し上げます。

私は大きな公約や目立った施策を掲げて出馬したわけではありません。

だからこそ、まずはこの「足」を使って汗をかき、岩美町の隅々まで駆け回り回ることから始めます。

地域の集まりや日々の暮らしの中で、町民の皆様一人ひとりの生の声に耳を傾け、「岩美町が今、本当に直面している課題は何か」を愚直に探り出し、その声を確実に議会へ届けてまいります。

町民の皆様の思いや切実な声を届けるパイプ役に徹し、いただいた声をひとつでも多く解決に導くため、精一杯取り組んでまいります。

至らない点も多々ございますが、岩美町の未来のために全身全霊で活動してまいりますので、温かいご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

大好きな岩美町を守っていくためにどうか皆様のお力をお貸しいただきたいです。

岩崎 傑



このたび、多くの皆様にご支援をいただき、岩美町議会議員として活動させていただきましたこととなりました。応援してくださった皆様には多大なるご助力を賜り、感謝の気持ちでいっぱいです。

私はまだまだ経験も知識も足りない新人です。だからこそ、分からないことはしっかりと学び、町民の皆様や先輩議員の方々、そして日頃から私たちの暮らしを支えてくださっている役場職員の皆様からもお話を聞き、一つひとつ知識を深め何事にも前向きに取り組んでいきたいと思っています。

これまで培ってきたケアマネジャーとしての経験も活かしながら相手の立場に立つて物事を考え、地域の声をしっかりと受け止めてまいります。町民の皆様が暮らしの中で感じている困りごとや悩みごとを少しでも減らし、誰もが住み続けたい、住んでよかったと思える岩美町になるよう努めてまいります。

まだまだ未熟な私ですが、初心と感謝の気持ちを忘れず、一つひとつの経験を大切にしながら町民の皆様に「応援してよかった」と思っていたいただけるよう誠実に議員活動に取り組んでまいります。誰もが楽しみや生きがいを持ち、健康に暮らせる町づくりをめざし、精一杯努力してまいりますので、今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

岩見 幸徳



今回の岩美町議会議員選挙は、多くの町民の皆様からご支援を賜り、ありがとうございました。

町民の暮らし、福祉、教育を第一に考える町政にするために頑張ります。

物価高から町民を守るために、国保税、介護保険料・利用料の負担の軽減、医療費の窓口負担増とならないよう町はもとより県、国にも努力を求めたいと思います。

国民健康保険（国保）における国庫負担の減少により、国保の総収入に占める国の割合が下がり、加入者の保険料負担が増えている現状です。

その他、物価高騰などから家計への様々な負担が生じております。

町民の暮らしを守るために、国に意見を述べることは、地方議会の重要な役割でもあると思います。

町内の農業、漁業、産業の育成、中学校までの給食無償化、岩美高校の存続、買い物支援と交通対策の充実、町の自然環境を守りながらの省エネの推進など課題は山積していますが、町民の皆様と課題を共有し、解決に努めてまいります。

今後ともご指導、ご協力を賜りますようお願いいたします。

町道陸上中央線の落石対策

復旧に向け早急な対応を



ロックネットによる法面の保護（陸上地内）

6月定例会

6月定例会を、6月9日から11日まで3日間の会期で開きました。

一般会計補正予算など追加14議案を含む21議案を、原案通り可決、同意しました。また、議員発議案を可決しました。

主な議案の概要

一般会計補正予算

2381万円を増額し、予算総額を8億8381万円としました。

【歳出の主なもの】

町道陸上中央線改良事業負担金

500万円増額

8年度末の片側交互通行での道路開放をめざして町・県それぞれの区間において事業実施している。

町に代わって県が行う路線の工事について、国予算が追加配分された。

当該配分に伴い事業の進捗を早めるため、町が負担する予算を増額補正する。

農業用機械等整備支援事業費

985万円増額

主食用米の生産拡大を志向する農業者の負担軽減と更なる農業振興を図るため、省力化、低コスト化を行いながら米の増産につながる農業用機

械の導入に係る経費を補助する。

事業者 福上工業株式会社
補助要件 7年度を基準に、主食用米作付面積が8年度において大きく増加し、さらに9年度までに拡大見込みであること。

補助率…県1/3、
町1/6



横尾の棚田を稲刈り（洗井地内）

コミュニティ助成事業費

480万円

コミュニティ助成事業（宝くじ）助成金が決定されたことに伴い、自治会の備品購入に係る経費を補助する。
申請者…小羽尾自治会
日の出町自治会

人事

農業委員会の14名の任命に同意しました。

任期は、8年7月20日から3年間です。

福石 幸生（新井）	谷口 貴文（宇治）	上根 慶万（牧谷）	数内 孝博（高山）	山本 一美（白地）	寺尾 孝則（大谷）	奥山 昌一（岩常）	米村 進司（浦富）	米山 勝（外邑）	森本 なお（馬場）	小西 由子（陸上）	賀山 圭子（白地）	田中 一行（小羽尾）	森田 充（蒲生）
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	----------	-----------	-----------	-----------	------------	----------

4月臨時会の審議結果と賛否の状況

【全員一致で可決、承認した議案】

議 案		議 案	
補 正	7年度一般会計補正予算（第10号）（専決処分）	条 例	税条例の一部改正（専決処分）
その他	岩井コミュニティーセンター建設工事の請負契約締結		国民健康保険税条例の一部改正（専決処分）

5月臨時会の審議結果と賛否の状況

【全員一致で可決した議案】

議 案		議 案	
議 案	財産の取得	条 例	国民健康保険税条例の一部改正

6月定例会の審議結果と賛否の状況

【全員一致で可決、同意した議案】

議 案		議 案	
補 正	8年度一般会計補正予算（第1号）	規 約	鳥取県行政不服審査会共同設置規約の変更
	8年度介護保険特別会計補正予算（第1号）		鳥取クレー射撃場の運営に関する事務の委託に関する規約の変更
その他	町道陸上中央線落石対策工事の請負契約締結		予防接種健康被害調査委員会に係る事務の委託に関する規約を定める協議
人 事	農業委員会委員の任命同意	議 員	地方財政の充実・強化を求める意見書提出

請願・陳情の審査結果

件 名	結 果	賛否の状況	不採択の理由等
農家・生産者への所得補償制度の法制化を求める陳情書	不採択	全員一致	昨今の物価高騰などに対して、早急な支援は必要と考えるが、一律の全戸所得補償やその法制化には財政面なども考慮し、慎重に検討するべきである。
非核3原則の堅持を求める意見書を貴議会から提出するよう求める陳情	不採択	全員一致	厳しい国際情勢の中にあつて、国において十分に議論を重ねていくべきである。
太陽光発電所建設に係る陳情書	採択	全員一致	—
地方財政の充実・強化を求める陳情	採択 （意見書提出）	全員一致	—



7年度に配備された消防ポンプ積載車

・納入期限…9年2月26日
・配置箇所…東分団
…蒲生分団

財産の取得
財産の取得にかかる契約締結
取得財産…消防ポンプ積載車
2台（軽自動車）

5月臨時会

岩井コミュニティーセンター
建設工事の請負契約締結
・工事完成期限…
8年12月15日

4月臨時会

一般質問

5議員が^{ただ}町政を質す

一般質問は、議員が自らの調査・研究、住民の声にもとづき、町執行部の方針を質すものです。

結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

【質問のルール】

事前に質問要旨を通告し、議長の許可を得て質問します。

質問時間は1人30分以内(答弁の時間を除く)で、一問一答方式で何度でも質問できます。

6月定例会の一般質問（登壇順）

質問議員	ページ	質問事項(通告書のまま)	
柳 正敏	9	1 人口減少、物価高騰下における町政運営の展開について	
川口耕司	10	1 価格高騰を踏まえた本町米生産の維持・拡大と持続可能な農政について 2 集落活性化推進員の具体策と行政支援の在り方について	
岡本浩美	11	1 岩美病院の経営改善策について 2 再生可能エネルギーの開発・建設に対する条例等による一定の制限について	
森田洋子	12	1 孤独・孤立対策の充実について 2 持続可能な地域医療の充実について	
升井祐子	13	1 胃がん対策について 2 町内にトレーニングジムの開設を	

- ・議会だよりでは、内容を1議員1ページに要約しています。議会ホームページでは、動画をご覧いただけます。
- ・会議録は、9月頃から議会事務局や議会ホームページでご覧いただけます。
- ・QRコードから各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

物価高騰・賃金上昇への対応は必須だ

柳 正敏議員

国や県の動向を注視し、支援策を検討する

長戸町長



柳 正敏議員

高齢化、人口減少は特に深刻な状況となっている。

この状況をどう分析し、問題点を捉えておられるか。

柳 地元紙報道での「鳥取県人口51万人台、戦後初、減少は加速傾向」との公表をどう捉えられたか。

町長の所見を伺う。

町長 近年の人口動態では特に自然減の割合が高く、少子高齢化の影響が顕著に表れており、併せて東京一極集中といった社会構造を変えていく必要がある。

人口減少は、全国的な課題で、国や県の政策と歩調を合わせながら対策を進めていきたい。

柳 本町の海岸部・山間部の

町長 海岸部・山間部からま

ちの方への転居や、町外からの転入者の居住地区を見ても海岸部・山間部は少ない傾向にあり、社会的要因も多く影響している。

町内のどここの地域でも暮らしやすい、住みやすい、まちづくりを続けていきたい。

柳 今後のまちづくりに向け、各地区への集落活性化推進員の配置を早急に進めるべきと考えるがどうか。

町長 集落活性化推進員は、過疎地域などの集落の課題に対応するための総務省の制度で、本町では田後地区に配置している。



物価高騰対策で皆様の生活安定を（町内のどこの地域でも暮らしやすい、住みやすい、まちづくりに向けて）

将来的に9地区に配置し、それぞれの地区がめざす将来像を後押しする取り組みにしたい。

柳 物価高騰・賃金上昇への今後の対応について伺う。

町長 引き続き、社会情勢や国、県の動向を注視しながら皆様の生活の安定に向けた対策など必要な支援策を検討したい。

特に全県的に取り組みが共通する物価高騰対策については、町村会要望も含めて様々な場面で取り組みたいと考えている。

小学校、観光会館、公衆トイレ洋式化を早急に

柳 正敏議員

優先順位をつけながら取り組む

長戸町長

柳 3小学校、観光会館、公衆トイレの洋式化の現状を伺う。

大西教育長 3小学校全体で洋式化率は31・3%だ。

畑先商工観光課長 観光会館を含めて公衆トイレは16箇所あり、全く洋式化していない施設は4箇所ある。

柳 早急な洋式改修を求めたい。

町長の所見を伺う。

町長 限られた財源の中で優先順位をつけながら取り組みたい。

議会にも改修のスケジュールなどを相談させていただく。

農業をどう持続させるか

川口耕司議員

国や県の制度も活用し支援する

長戸町長



川口耕司議員

川口 農業従事者の高齢化と後継者不足は深刻である。農業をどう持続するか。

町長 町内全ての農地について地域計画を策定、10年後を見据えた目標地図も作成し、毎年見直しを行っている。

農業者が減っても、農地を他の農業者が耕作をしていく仕組みを作っている。

引き続き国や県の制度も活用し農業が継続できるように必要な支援を行っていく。

川口 持続可能にするためには、農業が稼げる産業でなければならぬ。

山陰海岸ジオパークの観光資源や道の駅と連携し、農産物のブランド化を進めるべきではないか。

町長 農産物のブランド化は、今ある仕組みの中で取り組んでいきたい。

川口 鳥取県オリジナル米の星空舞は、猛暑でも品質が落ちず一等米を維持できる。

本町における星空舞への品質転換の現状は。

町長 4年から8年までの4年間で26ha増えている。

町内の水稲作付け面積全体で占める割合は25%が星空舞である。

引き続き作付品種の中で星空舞を検討していただきたい。

川口 農家が直面している肥

料、資材の高騰は高止まりしたままである。

米の価格が下がってもコメ生産者が赤字にならないよう、早めの支援策を講じる必要があると思うがどうか。

町長 国や県の対応を見ながら、JAや生産者の声も伺い、情報収集する中で遅れることがないように必要な支援を行いたい。



ドローンによる除草剤散布(延興寺地内)

推進員を全地区に配置する計画か

川口耕司議員

各地区に配置したい

長戸町長

川口 5年度地元の要望により、田後地区に集落活性化推進員が配置された。

この制度は特別交付税による財政措置が講じられるメリットがある。成果と課題をどう捉えているか。

町長 田後地区の将来像を描く賑わいプランの作成など、活性化のために必要な人材として認知されている。

その他の地区でも現在の取り組みの継続など、高齢化に伴い体制づくりが課題となっていくと考えている。

川口 それぞれ地理的条件も抱える課題も異なる自治会が存在する。

残り8地区へ今後展開する中で、各地区の特性や課題がある。

その解決のためにミッションを与えることも必要と考えるがどうか。

町長 各地区で抱える課題はさまざまである。

それぞれの地区でめざすべき将来像を実現するため人的なサポートを行う立場であり、各地区に合った人材を配置できるように考えていきたい。

岩美病院の経営改善策を問う

岡本浩美議員

病院関係者一丸となり、経営改善に取り組み 小谷病院事業管理者



岡本浩美議員

岡本 岩美病院は大幅赤字となっている。

10年度には資金不足が予想されるが改善策は。

病院事業管理者

入院患者の増と経費削減による経営回復で資金不足を回避したい。

岡本

6年3月作成の経営強化プランと実態が大きく乖離している。

見直すべきだ。

病院事業管理者

病院運営協議会で協議する。

岡本 利用者を増やすため、町内外への取り組みが必要だがどうか。

病院事業管理者

町民との意見交換会や敬老会に参加し、岩美病院を身近に感じてもらう。

また、職員が地域に出向き健康講座を開催している。

町外への広報活動は、実施していないが医療機関との連携を行なっている。

岡本 7年10月、九州の4病院の視察結果は。

参考事例や岩美病院に採用できそうな点は。

病院事業管理者

医療需要をもとに、病床種別を変更するなど柔軟な対応をしている事例や総務省の外部アドバイザリーを活用し、経営改善した

事例などが参考となった。
岩美病院も今年度外部アドバイザリーを導入する予定だ。

岡本

院長含む医療チームと事務チームが、団結して経営改善に取り組むべき。

病院事業管理者

毎週月曜日に医療、事務含め経営会議を実施している。

今後の岩美病院の役割や機能に対し管理会議や運営委員会で議論し検討していく。



町民のよりどころ（岩美病院）

岡本 町長に岩美病院の状況について伺う。

町長 この2年間、経営収支が上向かない。

本年も患者数が伸びず、厳しい経営状況である。

再生可能エネルギーに一定の制限を

岡本浩美議員

町村会の中で議論し、賛同を得て国に進言していきたい

長戸町長

岡本 国の脱炭素社会実現の推進に伴い、本町も実行計画に基づいて地球温暖化対策に取り組み中だ。

一方、全国で環境紛争が発生し、公表されているだけで158件。

4年9月議会において、条例制定に向け準備を進めると答弁されていたが、進捗は。

町長 開発に制限を設ける条例は、法を上回るため制定を見送った。

事業者には、特別措置法や国のガイドラインをしっかり守っていただきたい。

予防や健康管理を含め岩美病院が町民の皆様に愛され、利用されるよう努力していく。

本町の単独自立には、病院の存続が必須と考える。

岡本 6年度末で、323自治体が再生エネルギーを規制する条例を制定済みだ。

本町も条例などで開発・建設に対し自然環境調査や地元住民の合意を得るなどの一定程度の制限を設ける必要があると考える。

町長 法律を上回る条例制定は考えていない。

自治体の意向が反映されず、所有者と開発事業者の合意で進んでいく仕組みはどうかと思う。

町村会で議論し、賛同があれば国に進言していきたい。

つながりサポーターが共有し合える場を
森田洋子議員

意見交換のための交流会を実施したい
長戸町長



森田洋子議員

森田 誰一人取り残されない誰もが人と人とのつながりを感じられる社会の実現を目的とし、6年には、孤独孤立対策推進法が施行された。

自治体ごとに孤独孤立対策地域協議会を設置し、地域の実情に応じた相談支援体制の整備を努力義務としているが、本町の設置は。

また、取り組みはどうか。

浜野健康福祉課長 県のみが設置しており、必要に応じて市町村への助言を行う体制を構築している。

森田 麒麟のまち圏域での

連携による、とっとり孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの体制強化が進められている。

その中の一つに、つながりサポーターの養成を町主体で行っているが、サポーターの数は。

その目的は何か。

今後、共有し合える場を設けないか。

健康福祉課長 5年度より実



誰もがつながりを感じたい
(つながりサポーター養成講座)

施し、8年5月末で30名である。

日常的に気になる人の変化に気づき、つながり、支援機関へつなぐ役割を担っている。

今年度、つながりサポーターと支援機関の意見交換をする交流会をしたい。

森田 孤独、孤立防止対策として、子ども食堂がある。

現在、北小学校区に2箇所ある。

今後の取り組みは。

町長 安定的、継続的に運営できるよう支援を続けたい。ぜひ、南小学校区、西小学校区にも広げたい。

地域医療が重要

森田洋子議員

他の医療機関との連携も進め取り組む
小谷病院事業管理者

森田 本町において、人口減少や高齢化が進む中、将来に

わたり安心して医療が受け続けられる体制の確保が重要である。

岩美病院は、町内唯一の入院設備を持つ中核医療の病院であるが、近年赤字が続く厳しい経営状況だ。

本年4月より、薬剤師不足に伴い、院外処方へと完全移行したが、病院への影響は。

病院事業管理者 患者数や、収支にほぼ影響はない。

今後は、薬剤師による服薬指導をしっかり行い、収入増につなげたい。

森田 昨年、病院関係者が各地区に出向いて意見交換会を開催された。

今年に入っては、地区の敬老会などに出向き、病院のアピールをされていた。

意見交換会ではどのような意見があったか。

病院事業管理者 町内の地区ごとに合計10回の意見交換会を実施し、172件のご意見をいただいた。

待ち時間などに対する苦情や経営状況に対する厳しい意見、叱責などがあつた。

厳しい声の根底に病院をなくしてはならないとの思いがあつたと感じている。

森田 持続可能な地域医療が重要と考える。

病院事業管理者 他の医療機関との連携をさらに進め、限りある医療資源を有効に活用したい。

中学生にピロリ菌検査の導入を

升井祐子議員

希望者を対象に実施を検討したい

長戸町長



升井祐子議員

升井 国立国府台医療センター名誉院長の上村先生は、胃がんのほとんどはピロリ菌の感染が原因と明言している。

ピロリ菌の検査を含め胃が

ん検診の受診率を高めることが必要であると思うがどうか。

町長 様々な取り組みは行っているが、なかなか受診率向上につながらない。

先進的な事例を研究し、向上につなげたい。

升井 琴浦町では、子ども自身のピロリ菌感染に起因する慢性胃炎、胃、十二指腸潰瘍、胃がんの発症リスクの軽減及



健診に行きましょう（なごみの館で胃がん検診）

び将来の家庭感染の予防を目的とし、希望する者に対しピロリ菌検査を導入している。

本町の中学生を対象としたピロリ菌リスク検査の実施についてのを伺う。

町長 希望者を対象に、実施を検討したい。

本町にジム施設の開設を

升井祐子議員

民間事業者の参入があれば支援は考えたい

長戸町長

升井 町民の方から、「本町にジム施設を」という声も聞かれるようになった。

本町は体力増進をするような場所が少ない。

ジム施設が本町にあれば、市内に通わなくてもよく、町外からも通う方があると思う。

町長の考えはどうか。

町長 町民の方が体力づくり、健康づくりに関心をお持ちのことは良いことだ。

ジム施設があれば町の魅力の一つになると思う。

升井 町が建物を所有し、その運営や管理を民間企業などの民間事業者に委託、代行さ

せる公設民営という形も考えられる。

いろいろと可能性を研究されて、町内にトレーニングジムを開設することを検討されてはどうか。

町長 施策の優先順位をつける意味で、今もつと町が先に取り組むべき課題がある。

民間事業者の方で手を上げる方がいれば、町としてもできる支援は考えたい。

浜野健康福祉課長 個人負担2000円で毎年バリウム、胃カメラとも受診できる。広報いわみ、岩美町チャンネルで生活習慣改善を呼びかけ、胃がん発症予防へつながる取り組みを行っている。



7月25日^土
開催

いわみ花火祭り



浦富海岸元気フェスティバル実行委員会にお聞きしました



浦富海岸元気フェスティバル
実行委員長 川口 博樹さん

今年も盛大に「浦富海岸花火祭り」を開催することができました。夏の夜空に大輪の花火が咲き、海面に映り込む光景は、浦富海岸ならではの特別な美しさを感じさせてくれました。ご協力いただいた関係者の皆様、ご協賛企業の皆様に心より御礼申し上げます。皆様のお力添えがあってこそ、毎年この花火祭りを開催することができています。この夏の風物詩をより多くの方に楽しんでもらえるよう、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。来年、浦富海岸元気フェスティバルは第40回という節目の年を迎えます。実行委員会としても、来場者の皆様により一層楽しんでいただけるよう、企画内容の充実を図ってまいります。ぜひ「第40回浦富海岸元気フェスティバル」にご期待ください。



岩美町観光協会
事務局長 田中 司さん

今年のいわみ花火大会は、物価高や厳しい猛暑など様々な課題がありましたが、皆様の温かいご尽力のもと無事に開催することができました。心より感謝申し上げます。新たな試みとして会場前の車両通行止めを実施したほか、熱中症対策のためにステージ構成を見直しました。近隣の皆様や浜浦富自治会をはじめとする地域の方々のご理解とご協力があったからこそこの花火大会だと、改めて実感しております。来年は節目の第40回を迎えます。50回、100回と続く伝統行事となるよう、チャレンジ精神を持って進化を続けてまいります。皆様の声を生かし、より愛される大会を目指しますので、来年もぜひ大切な方とお誘い合わせの上お越しください。今後ともよろしくお願いいたします。



議会だより調査特別委員会委員

委員長	委員	委員	委員	委員	委員	委員長	委員長
升井 祐子	寺垣 智章	柳 正敏	森田 洋子	岡本 浩美	岩崎 幸徳	岩崎 幸徳	岩崎 幸徳

編集後記

季節は9月を迎えますが、残暑が厳しくまだまだ暑い日が続くと予想されます。

この暑さが残るなか皆様におかれましては、十分お体に気をつけてお過ごしいただきたいと思います。

さて、本特別委員会では、今回から新議員3名の新たな力も加わり、更に岩美町を好きになって頂ける、ホットな情報もお届けするよう努めていきたいと思っております。

また、皆様にとっても見やすく、分かりやすくするため紙面の刷新も検討してまいります。

升井 祐子